

藤沢薬業協会 登録販売者継続研修

虫さされ、痒み止め用薬、虫よけ薬

2026年2月15日(日)

湘南あおぞら薬局 矢野良太郎

12 虫さされ、痒み止め用薬

P380～389

- 虫さされによる痒みなどの症状は、体内に入った唾液や毒素に対するアレルギー反応によるものである。
- 痒みは最も頻発する症状であり、掻き壊しにより患部が化膿したり、慢性化することがあるため、痒みを抑えることは非常に重要である。さまざまな機序の成分を複数配合している製剤が多いため、個々の患者に合った薬剤を選択することで、早期に症状などの消退を期待することができる。
- 原因となる虫がわからないことも多いため、患者に場所・皮膚の状態などの状況を詳しく確認し、薬剤選択の参考とする。
- 虫さされは時に生命に関わる事態を招くことがあるため、個々の状況に適した虫よけ剤などの情報提供も重要である。

☐ 最近の OTC 薬の動向

最近の虫さされ、痒み止め用薬は、売り上げが横ばいまたは減少傾向にあったが、インバウンド需要の回復により特定ブランド（ムヒ、ウナコーワ）が売り上げを伸ばしている。

皮膚の炎症を引き起こす虫

- ・血を吸う蚊
 - ・ノミ
 - ・ブヨ
 - ・アブ
 - ・ダニ
 - ・刺すアリ
 - ・ハチ
 - ・咬むクモ
 - ・ムカデ
 - ・接触による毒蛾
 - ・毛虫
- など



蚊は、吸血昆虫の代表的な虫で、どこにでも見られます。日本には100種類くらい生息し、主な吸血性の蚊は右の3種がほとんどです。

ヒトスジシマカ



昼間に吸血をする蚊で、逆に夜になると活動が止まります。ヤブカとも呼ばれてます。小型で黒く、背中の部分に一本の白い線があり。体長は5mmほど。小さな水たまりが発生源です。

アカイエカ



活動時間は主に夜（日没）から日の出まで、屋内で最も普通に見られます。中型で赤褐色。耳元でプ〜ンと羽音を立てる蚊です。

チカイエカ

都心で最近増えています。ビルなどの地下水域から発生し、低温に強く冬期休眠しないヤツカイな蚊。



ブユに刺されると、血が流れ出て、唾液に含まれる毒素によって激しいかゆみと腫れが生じます。別名はブヨ、ブトと呼ばれ、日本でおおよそ30種生息しています。人の血を吸うのはアオキツメトゲブユを含めて5種類くらいです。

アオキツメトゲブユ

体長約4mm、灰黒色、脚の腿節と脛節に黄色部があります。人のほか馬や牛からも激しく吸血するブユです。

アシマダラブユ

体長3-5mm、黒褐色で、脚に黄白色の斑紋をもっています。日本全土に分布する吸血性の普通種です。



主に春～夏にかけて発生する体長5mm前後の小型のハエのような吸血性の虫です。キャンプ場や溪流などに多く、朝夕に活動します。



ウシアブ

体長23～29mm。褐色がかった、複眼が緑色です。幼虫は放牧場の土中や水田などに生息し、ミミズなどを捕食していますが、人に刺咬症の害を与えます。

アカウシアブ

体長25～30mm。吸血性アブの最大種で、日本に広く分布しています。スズメバチによく似ているのでハチアブという別名で呼ばれます。

シロフアブ

体長18～20mm。腹部は黒く、腹部背の灰白の三角斑が目立ちます。人のほか牛を好んで吸血します。

主に夏に発生。体長は5～20mm程度。牛や馬などの血を吸うアブの中には、人の血を吸うものもいます。家畜がいる場所に多いです。

イエダニ

体長は0.5～1mm。淡い褐色です。ネズミや鳥の体や巣の中からはい出して人から吸血します。

ミナミツメダニ

体長は、約0.5mm。体色は乳白色です。触肢は強大で末端の爪も発達しています。首筋や腹部、足等の柔らかい部分を刺咬します。

ケナガコナダニ

体長は、0.3～0.5mm。乳白色で、胴体部に多数の長い毛が生えているのが特徴です。食品のほか、新しい畳などに大発生することがあります。



6月頃～9月頃に主に発生し、体長は直径3mm前後の小さなクモのような虫。人を刺したり、アレルギーの原因や皮膚疾患を起こします。



ヒトノミ

体長はメス2~4mm、オス1.5~3mm。全世界に分布し、人をはじめ数十種の哺乳類や鳥類から吸血します。

ネコノミ

メス2~3.5mm、オス1.5~2.5mm。頭部の長いのが特徴です。全世界に分布し、イヌノミより人にたかりやすく、ネコはもちろんイヌやネズミにも外部寄生するノミです。

イヌノミ

メス3~4mm、オス2~3mm。頭の形が丸いのが特徴です。イヌのほか多くの哺乳類や人に外部寄生します。

日本では約80種類のノミが記録されています。成虫はオス、メスともに血を吸い、人間や動物に寄生します。長い後ろ足で高く跳躍するのが特徴。

① スズメバチ

危険大!



- ・体はオレンジ系が多い
- ・巣は丸い（フラスコ型も）
- ・巣は最大80センチ

② アシナガバチ



- ・体は黄色系の色が多い
- ・巣はシャワーヘッド型
- ・巣は最大15センチほど

③ ミツバチ



- ・体はずんぐり太め
- ・巣は板型
- ・巣は最大1メートル



キイロスズメバチ



キアシナガバチ

アレルギー反応

【即時型】

虫に刺されて**すぐ**症状を起こす
痒み、腫れ、紅斑、蕁麻疹、ショック

【遅延型】

虫に刺されて**1～2日後**症状を起こす
紅斑、丘斑、水ぶくれ

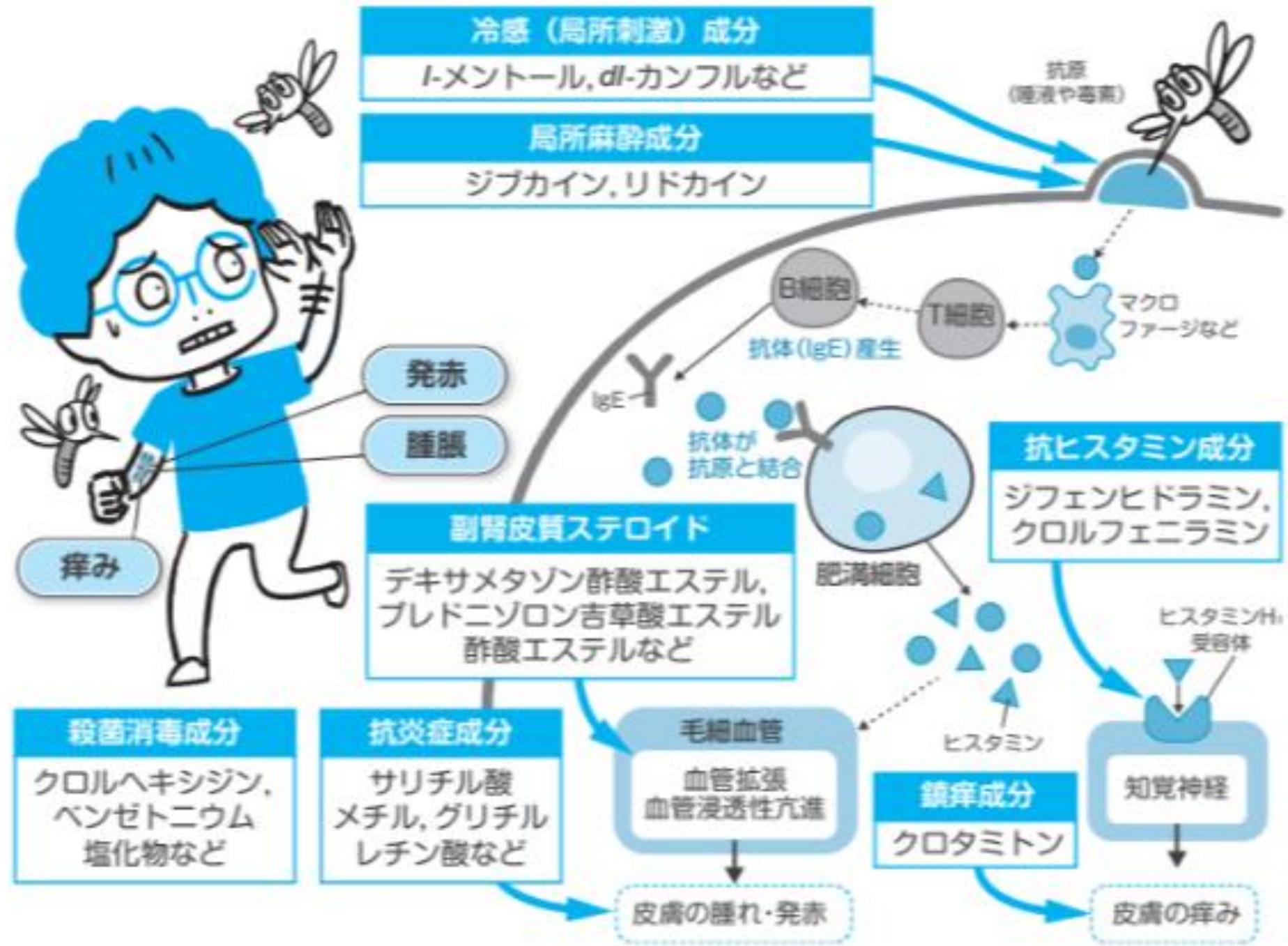
01

虫さされによる痒みの原因と発症メカニズム

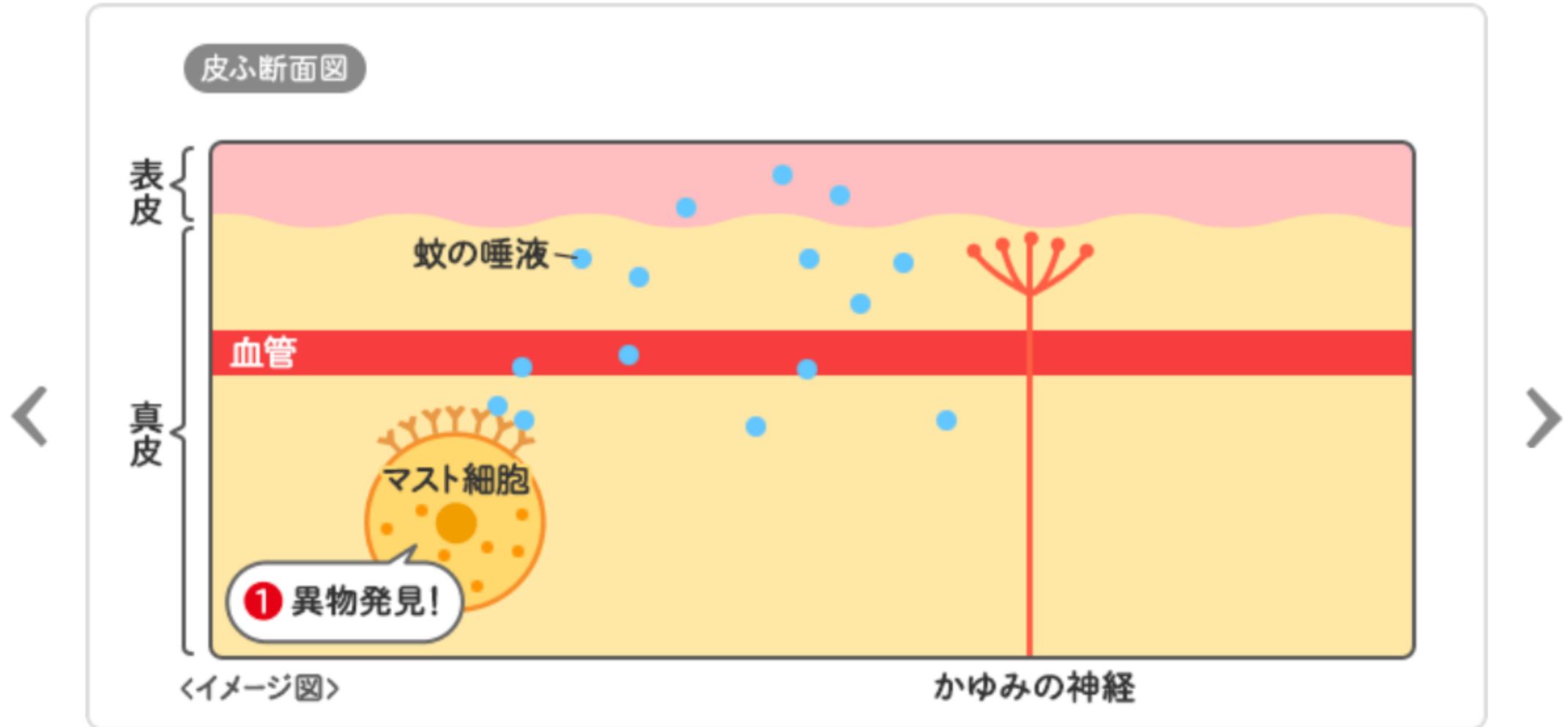
虫さされの原因となる虫には、蚊、アブ、ダニ、ノミ、ハチなどが挙げられる。さされたことによる皮膚症状として、痒み、発赤、皮膚の腫れ、痛みなどが生じる。

虫さされによる痒みは、虫が血を吸うときなどに注入された唾液や毒素（これらを抗原と呼ぶ）に対するアレルギー反応（即時型と遅延型）によるものである。即時型アレルギーによる症状は、虫さされ後 30 分以内に起こり、数時間で軽快する。皮膚に入った抗原をマクロファージなどが取り込み、その抗原情報を伝達された T 細胞が活性化し、B 細胞へ IgE（抗体）産生の指示を出す。この IgE（抗体）が表面に結合した肥満細胞へ抗原が結合することで、肥満細胞からヒスタミンという物質が放出され、このヒスタミンが知覚神経を刺激し、痒みが発生する。また、ヒスタミンは毛細血管にも作用して炎症を起こし、発赤や皮膚の腫れを引き起こす。遅延型アレルギーによる症状は、虫さされ後 1~2 日経ってから起こり、1 週間程度で軽快する。抗原を記憶した T 細胞が抗原と反応し、インターロイキンという物質を産生し、痒み、炎症反応（発赤、皮膚の腫れ、水疱）を引き起こす。

アレルギー反応の症状やその程度は、さした虫の種類、同種の虫にさされた回数やその人の体質・体調などにより異なるため、症状の種類と変化に注意が必要である。

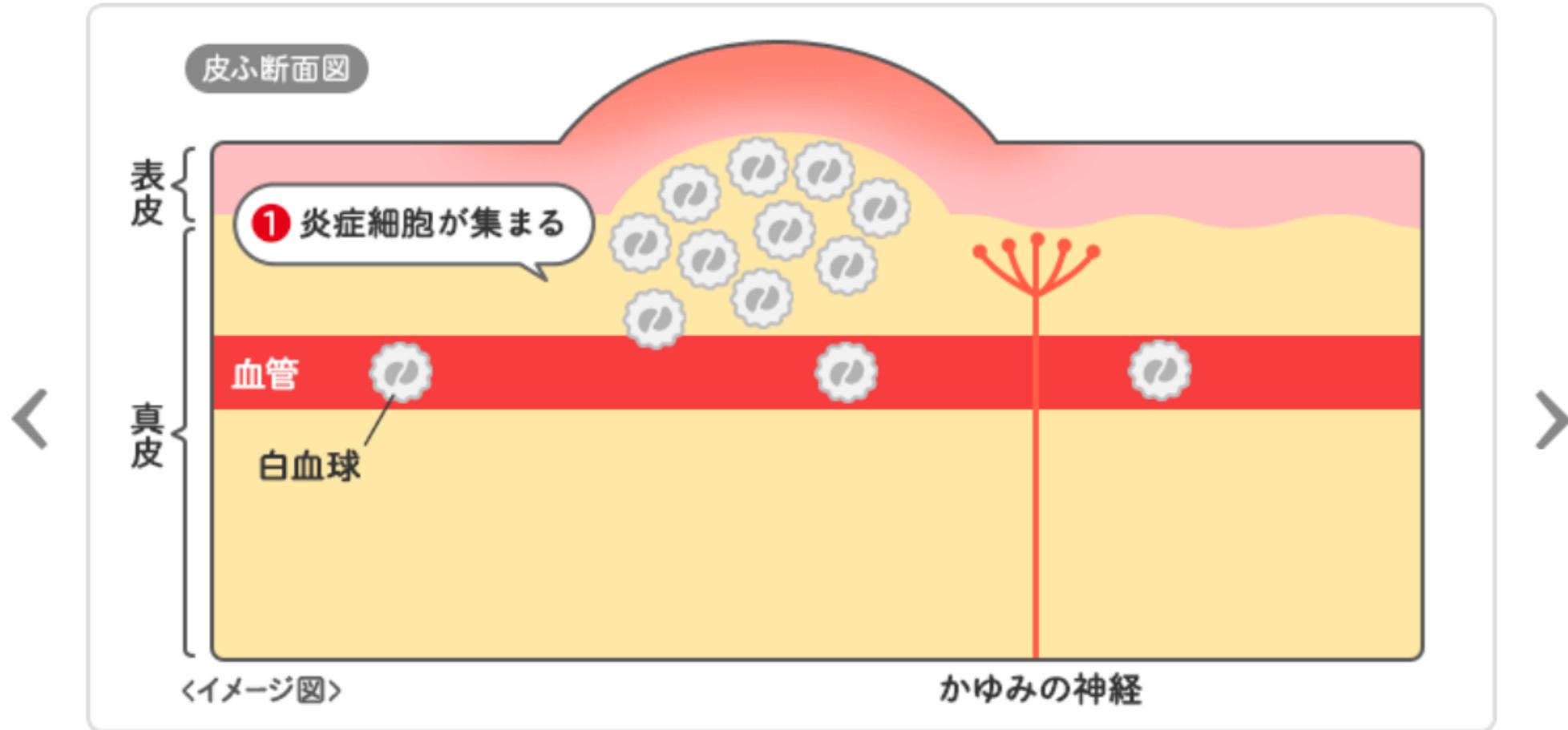


即時型反応のメカニズム



- 1 蚊に刺されると、蚊の唾液を異物と認識する。

遅延型反応のメカニズム



- ① 白血球などの炎症細胞が刺された箇所に集まる。

2つのかゆみの起こるメカニズムが異なるため、それぞれの反応に適した成分が必要です。

● 痒み

虫さされによると考えられる局所的な皮膚の痒みの軽快を目的として使用する。掻き壊しによる皮膚の炎症や二次感染を予防するため、痒みの程度および併発している症状などから、最適な薬剤を選択する必要がある。

▶ 成分の選びかた

- 痒みが強く、皮疹・発赤なども併発している場合は、抗ヒスタミン成分であるジフェンヒドラミンやクロルフェニラミンに加え、副腎皮質ステロイドであるプレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル (PVA)、デキサメタゾン酢酸エステルが含まれる薬剤を選択する。
- 軽度な痒み以外の症状がない場合は、抗ヒスタミン成分に冷感成分であるメントールや *dl*-カンフルが含まれた薬剤を選択する。
- 痒みが強い場合は、複数の経路からアプローチできるよう、局所麻酔成分であるジブカインやリドカイン、鎮痒成分であるクロタミトンを含む製剤を選択する。
- 掻き壊しがある場合は、殺菌消毒成分であるイソプロピルメチルフェノールを含む製剤が適している。
- 剤形が豊富であるため、小児で掻き壊しの不安がある場合はパッチ剤、頭部には液剤、汗をかく時期は軟膏を避けるなど、患部の状態や使用感などで剤形を選択可能である。
- 掻き壊しがすでにある場合は、クリーム剤、ローション剤、ジェル剤は刺激を感じることもあるため、軟膏剤が適している。

● 発赤・皮膚の腫れ・痛み

虫さされによると考えられる軽度な発赤・皮膚の腫れ・痛みの軽快を目的として使用する。

▶ 成分の選びかた

- 痒みに加え発赤などを併発している場合は、副腎皮質ステロイドを含む製剤が適している。
- 炎症が強く、より高い効果を必要とする場合は、プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステルを含有する製剤を選択する。

[ブヨにさされた場合]



イメージ図

 こんな症状や訴えの方には医療機関の受診を勧める！

- 原因となる虫がまったく想定できず全身に痒みがある、発赤や腫れが広範囲にわたる→虫さされ以外の原因も考えられる
- 湿潤やただれがひどい→OTC薬では対応できない
- さされた部位に激しい痛み、強い腫れ、灼熱感などがあり、腹痛や気分が悪い、呼吸困難といった全身症状がある→ハチにさされたことによるアレルギー反応の恐れがあるため、直ちに救急車を呼ぶ
- 薬を適切に使用しているが、新たな皮疹が次々出現する→原因であると想定している虫が異なることも考えられる
- OTC薬を使用しているが痒みなどの症状に変化がなく、1週間以上続く、あるいは徐々に痒みなどの症状が強くなる

抗ヒスタミン成分

ジフェンヒドラミン

【3類】

OTC 薬商品例
マキロンかゆみどめパッチP

医療用医薬品
レスタミン、ペナバスタ

作用 H₁受容体を遮断し、ヒスタミンによるアレルギー性反応を抑制して、鎮痒作用を示す

副作用 皮膚の発赤、痒み、腫れ、温潤など→**対策**：使用中止

クロルフェニラミンマレイン酸塩

【3類】

OTC 薬商品例
アレルギークリーム

比較 エタノールアミン系に比べ効果はやや弱い

作用 ⇨「ジフェンヒドラミン」参照

副作用 ⇨「ジフェンヒドラミン」参照

プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル (PVA) ★スイッチ OTC ★【指定2】

副腎皮質ステロイド

OTC 薬商品例
液体ムヒアルファEX

医療用医薬品
リドメックスコーワ、スピラゾン

作用 細胞内の糖質コルチコイド受容体と結合し、アラキドン酸代謝系酵素および転写因子を抑制し、抗炎症作用、免疫抑制作用、抗アレルギー作用を示す

特徴 アンテドラッグであり、患部で効果を発揮した後体内に吸収されると速やかに分解され低活性の物質となるため、副作用が起こりにくい。ステロイド外用薬の作用の強さランクでミディアム (IV群) に分類される

注意 水ぼうそう、みずむし、たむしなど化膿している部位には使用しない。顔面では広範囲に使用しない。長期に連用しない (目安：顔面2週間以内、その他の部位4週間以内)。5~6日使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し医療機関を受診する

副作用 皮膚の発疹・発赤、痒み、腫れ、ヒリヒリ感→**対策**：使用中止、みずむし、たむし、にきび、持続的な刺激感→**対策**：使用中止

デキサメタゾン酢酸エステル

【指定2】

OTC 薬商品例
タクトプラスクリーム、マキロンパッチエース

医療用医薬品
なし

比較 プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル (PVA) より効果が弱い

作用 ⇨「プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル (PVA)」参照

特徴 ステロイド外用薬の作用の強さランクでウィーク (V群) に分類される

注意 ⇨「プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル (PVA)」参照

副作用 ⇨「プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル (PVA)」参照



冷感成分	トメントール 【3類】
	<p>OTC 薬商品例 ムヒパッチ A</p> <p>作用 清涼化作用を示す</p>
鎮痒成分	dI-カンフル 【3類】
	<p>OTC 薬商品例 ウナコーワクールα</p> <p>医療用医薬品 dI-カンフル精</p> <p>作用 清涼化作用を示す 副作用 発赤、発疹→対策：使用中止</p>
鎮痒成分	クロタミトン 【3類】
	<p>OTC 薬商品例 ムヒアルファ S II</p> <p>医療用医薬品 オイラックスクリーム</p> <p>作用 鎮痒作用を示す 注意 妊婦、高齢者、小児への大量または長期にわたる広範囲使用は避ける 副作用 痒み、発疹、湿疹、紅斑、血管浮腫、皮膚刺激感など→対策：使用中止</p>



局所麻酔成分

ジブカイン塩酸塩

[2類]

OTC 薬商品例
タクトプラスクリーム

医療用医薬品
なし

作用 鎮痒・鎮痛作用を示す
注意 妊婦・授乳婦への使用は、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ使用する
副作用 発疹、発赤、痒み→**対策**：使用中止



リドカイン

[2類]

OTC 薬商品例
ウナコーワクールα

医療用医薬品
エムラクリーム、リドカインテープ

作用 鎮痒・鎮痛作用を示す
注意 妊婦・授乳婦への使用は、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ使用する
副作用 発疹、発赤、痒み→**対策**：使用中止



抗炎症成分

サリチル酸メチル

[3類]

OTC 薬商品例
アレルギールクリーム

医療用医薬品
MS 冷シップ

作用 鎮痛・消炎作用を示す
注意 妊婦・授乳婦への使用は、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ使用する
副作用 発疹、発赤、痒み→**対策**：使用中止



グリチルレチン酸

[3類]

OTC 薬商品例
ムヒ・ベビーb

医療用医薬品
デルマクリン

作用 抗炎症・鎮痒作用を示す
副作用 皮膚の刺激感などの過敏症状→**対策**：使用中止



クロルヘキシジン塩酸塩

[2類]

OTC 薬商品例
アレルギークリーム

作用 殺菌作用を示す

医療用医薬品
なし

ベンゼトニウム塩化物

[3類]

OTC 薬商品例
アレルギージェル

作用 殺菌作用を示す
副作用 発疹、痛み → **対策**：使用中止

医療用医薬品
ベゼトン液

イソプロピルメチルフェノール

[3類]

OTC 薬商品例
マキロンパッチエース

作用 殺菌作用を示す

医療用医薬品
なし



04

“患者背景”による選ぶ成分・選んではならない成分

 小児

- 小児は掻きたい衝動を我慢することが難しいため、掻き壊しによる悪化や化膿を防ぐために、痒みや炎症を速やかに抑える必要がある。副腎皮質ステロイド配合剤も生後6ヵ月以上を目安に使用可能であるため、痒みや炎症の出ている生後6ヵ月以降の患児には副腎皮質ステロイド配合剤を勧める。ただし、同一部位への長期連用は避け、顔面で2週間以内、その他の部位で4週間以内を目安に使用する。
- 掻き壊しにより状態が悪化するため、物理的に掻けないようにできるパッチ剤の使用も効果的である。ただし、貼った部位に痒みやかぶれが出た場合は使用を中止し、他の剤形に変更する。

 妊娠中・授乳中

- 虫さされのように使用部位の範囲が限定されている場合、いずれの外用剤も妊婦・授乳婦ともに使用可能であり、症状などに合わせて薬剤の選択が可能である。ただし、患者の状態から、大量、広範囲な使用が想定される場合には医療機関を受診するよう勧める。

05

生活上の注意点とアドバイス

- 虫さされは時に生命に関わる事態を招くことがあるため、野外での活動時には適切な虫よけ剤の使用や肌の露出を避けるなどの予防、屋内では定期的な掃除や燻煙剤の使用による虫の発生の防止が重要である。
- 虫にさされたら、まずは流水で洗って清潔にする。もし症状に合わせた薬を使用しても痒みが改善しない場合は、OTC薬では対応できない症状ということでもあるため、迷わず医療機関を受診する。医療機関を受診するまでの間、すぐにできる対処方法として、保冷剤などで患部を冷やすことで痒みが軽減され、楽になる。

OTC 薬販売に役立つ+αの知識

Q1 虫にさされたところは薬を塗らずに放置してもよい？

虫にさされた部位に痒みや炎症などがある場合は薬を活用する

虫にさされた部位に痒み、発赤、皮膚の腫れなどの何らかの症状がある場合は、それぞれの症状に応じた薬を適切に使用することで、掻き壊しなどによる悪化を防ぐことができます。

薬を使用しなくても掻き壊したりしなければ、ほとんどのケースで虫さされによる症状は1週間以内に軽快します。しかし、痒みがあると無意識に掻いてしまい、治癒に時間がかかることや傷跡が残ってしまうことがあります。また痒みなどの症状が強い場合は、睡眠などの生活の質（QOL）の低下も引き起こされることがあります。

それぞれの患部の状態に合わせた薬を上手に使用することで、QOLを下げずに治すことが可能です。

Q2 まぶたや唇をさされた場合、薬を塗ってもよい？

まぶたは塗ることができますが、唇は医療機関を受診する

まぶたにはステロイドが配合されている薬剤も使用することができます。ただし、液剤やゲル剤などの目の中に入る危険性のある剤形やトメントール、dl-カンフルなどの刺激性のある成分が含まれる製剤は使用することができません。目の周りに使用することが可能か、使用前に各医薬品の説明文書を必ず確認してください。

唇はその構造が他の皮膚と異なり、角層が数層しかなく、皮脂腺や汗腺もないことから保湿機能やバリア機能が低い場所です。また、医薬品開発の際にも唇への使用を想定した試験は行われておらず、唇にOTC薬を使用した際に身体にどのような影響があるかを明言することはできません。そのため、唇をさされて症状が出ている場合には、医療機関の受診が必要となります。

Q3 掻き壊した患部にステロイド配合剤を塗ってもよい？

掻き壊した患部にも塗ることができる

掻き壊した患部では、炎症が悪化し、それが痒みを起こし、さらに痒くなり、また掻き壊すという悪循環に陥りやすくなります。そのような事態にならないように、強い抗炎症作用を持つステロイド配合剤を適切に使用し、患部の炎症を鎮め、皮膚の状態を改善することが重要です。

なお、患部がすでに化膿している場合には、原則ステロイド配合剤は使用できません。抗菌作用を持つ薬剤での治療が必要ですので、化膿していることが疑われる場合には医療機関を受診しましょう。

掻き壊した患部はバリア機能が低下しているため、細菌が侵入しやすくなっています。侵入した細菌が増殖すると、化膿して治癒に時間がかかるだけでなく、傷跡が残ってしまう場合もあります。また、黄色ブドウ球菌や溶血性連鎖球菌が増殖すると、伝染性膿痂疹（とびひ）を発症することもあります。

掻き壊してしまった場合には、細菌感染を防ぐために、患部を清潔に保つことが大切です。石けんをよく泡立てて、優しくしっかり洗いましょう。爪は細菌が繁殖しやすいため、短く切りましょう。小児は掻くことを我慢することが難しいため、掻いてしまってもよいようにパッチ剤を活用するとよいでしょう。ただし、パッチ剤はすでに掻き壊した皮膚には使用できません。

中分類	商品名	抗ヒスタミン成分	抗炎症成分	局所麻酔成分 /鎮痒成分	殺菌消毒成分	冷感成分	その他の成分	備考
虫さされの痒みに(ステロイド成分(-)) 抗ヒスタミン成分(+)	●マキロンかゆみどめパッチ P (第一三共)【3類】 パッチ<1g中>	ジフェンヒドラミン 10mg	グリチルレチン酸 5mg	クロタミトン(鎮 痒)50mg	イソプロピルメチ ルフェノール 10mg			傷口、湿潤、ただれ、かぶれ
	●ムヒ・ベビーb (池田模範堂)【3類】 クリーム<1g中> ☀️1ヵ月以上			イソプロピルメチ ルフェノール 15mg		トコフェロール酢酸エステル(血行 促進成分)5mg		湿潤やひどいただれ
	●ムヒパッチ A (池田模範堂)【3類】 パッチ<1g中> ☀️1歳以上			イソプロピルメチ ルフェノール 10mg	トメントール 30mg		傷、湿潤、かきこわし、ただれ、かぶれ、目の 周囲、粘膜、顔	
	●液体ムヒベビー (池田模範堂)【3類】 液<1g中> ☀️3ヵ月以上	ジフェンヒドラミン 塩酸塩 20mg					パンテノール 10mg	湿潤やひどいただれ
	●ウナコーワクールパンチ (興和)【2類】 液<1mL中>		リドカイン(局 麻)10mg		トメントール 40mg、 d-カンフル 20mg		目・目の周囲・粘膜、創傷面 湿潤やひどいただれ	

中分類	商品名	ステロイド (抗炎症・鎮痒)	抗ヒスタミン 成分	抗炎症成分	局所麻酔成分 /鎮痒成分	殺菌消毒成分	冷感成分	その他の成分	備考
ぶり返しの痒みに(ステロイド(+)) 抗ヒスタミン成分(+)	●マキロンパッチエース (第一三共)【指定2】 パッチ<1g中>		ジフェンヒドラミ ン10mg			イソプロピルメチ ルフェノール 10mg		トコフェロール酢 酸エステル(血行 促進成分)5mg	水疱、みずむし・たむし、化膿している患部、 目・目の周囲・粘膜、傷口、湿潤(かきこわ し)、ただれ、湿疹、かぶれ、広範囲の顔面、長 期連用 妊婦 患部が広範囲、妊婦
	●タクトプラスクリーム (佐藤)【指定2】 クリーム<1g中>			クロタミトン(鎮 痒)50mg、 ジブカイン塩酸塩 (局麻)3mg	イソプロピルメチ ルフェノール 20mg	トメントール 30mg、 d-カンフル 20mg		水疱、みずむし・たむし、化膿している患部、 長期連用 妊婦 患部が広範囲、湿潤やひどいただれ	
	●ムヒアルファ S II (池田模範堂)【指定2】 クリーム<1g中> ☀️6ヵ月以上	デキサメタゾン酢酸 エステル0.25mg	ジフェンヒドラミ ン塩酸塩 20mg	グリチルレチン酸 2mg	クロタミトン(鎮 痒)50mg	1mg	トメントール 35mg、 d-カンフル 10mg		水疱、みずむし・たむし、化膿している患部、 広範囲の顔面、長期連用 妊婦 患部が広範囲、湿潤やひどいただれ
	●ウナコーワクールα (興和)【指定2】 液<1mL中>				リドカイン(局 麻)5mg		トメントール 30mg、 d-カンフル 20mg		水疱、みずむし・たむし、化膿している患部、 創傷面、目・目の周囲・粘膜等、広範囲の顔面、 長期連用 妊婦 患部が広範囲、湿潤やひどいただれ
	●液体ムヒ S2a (池田模範堂)【指定2】 液<1mL中> ☀️6ヵ月以上			グリチルレチン酸 2mg		イソプロピルメチ ルフェノール 1mg	トメントール 35mg、 d-カンフル 10mg		水疱、みずむし・たむし、化膿している患部、 目・目の周囲・粘膜等、広範囲の顔面、長期連 用 妊婦 患部が広範囲、湿潤やひどいただれ
	●アレルギールクリーム (第一三共)【指定2】 クリーム<1g中>	プレドニゾン酢酸 エステル1.25mg	クロルフェニラミ ンマレイン酸塩 10mg	サリチル酸メチル 20mg	塩酸リドカイン (局麻)30mg	クロルヘキシジン 塩酸塩 2mg	トメントール 5mg、 d-カンフル 5mg		水疱、みずむし・たむし、化膿している患部、 目・目の周囲・粘膜等、広範囲の顔面、長期連 用 妊婦 患部が広範囲、湿潤やひどいただれ
	●アレルギールジェル (第一三共)【指定2】 ゲル<1g中>			サリチル酸グリコ ール 20mg	塩酸リドカイン (局麻)30mg、 クロタミトン(鎮 痒)50mg	ベンゼトニウム塩 化物 1mg	トメントール 3mg		

ムヒパッチA

第3類医薬品

かきむしりを防ぐ、貼るかゆみ止め！



【してはいけないこと】

次の部位には使用しないでください。

傷口、湿潤、かきこわし、ただれ、かぶれ、目の周囲、粘膜、顔

【効能効果】

虫さされ、かゆみ、しもやけ

【用法用量】

パッチを台紙からはがし、1日数回患部に貼付してください。

【有効成分(1.25㎡中)】

ジフェンヒドラミン

1.0g かゆみ成分(ヒスタミン)をブロック

イソプロピルメチルフェノール

0.1g 殺菌作用

l-メントール

3.0g 清涼感を与え、かゆみをしずめる

液体ムヒベビー

第3類医薬品



【してはいけないこと】

記載なし

【効能効果】

かゆみ、虫さされ、あせも、かぶれ、しっしん、じんましん、皮膚炎、しもやけ、ただれ

【用法用量】

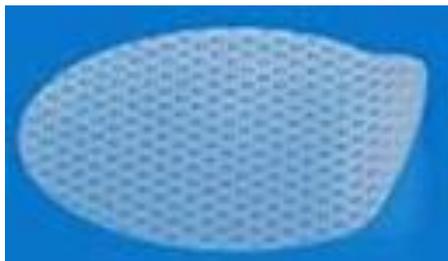
1日数回、適量を患部に塗布してください。

【成分および分量(100g中)】

ジフェンヒドラミン	2.0g	かゆみ成分(ヒスタミン)をブロック
パンテノール(プロビタミンB5)	1.0g	お肌の正常な働きを助ける

マキロンパッチエース

第2類医薬品



【してはいけないこと】

次の部位には使用しないでください。

- ・水痘（みずぼうそう）、みずむし・たむし等又は化膿している患部
 - ・目の周囲、粘膜等
 - ・傷口、湿潤（かきこわし）、ただれ、しっしん、かぶれ
- 顔面には広範囲に使用しないでください
長期連用しないでください

【効能効果】

虫さされによるかゆみ

【用法用量】

1日1～3回、患部に貼ってください

【成分および分量100g（1.25㎡中）】

デキサメタゾン酢酸エステル	0.025g
ジフェンヒドラミン	1.0g
イソプロピルメチルフェノール	1.0g
トコフェロール酢酸エステル	3.5g
dl-カンフル	0.5g

ムヒアルファS II

第2類医薬品



【してはいけないこと】

次の部位には使用しないでください。

- ・水痘(みずぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部
- ・顔面には広範囲で使用しないでください
- ・長期連用しないでください

【効能効果】

虫さされ、かゆみ、しっしん、皮膚炎、かぶれ、じんましん、あせも、しもやけ

【用法用量】

1日数回適量を患部に塗布してください。

【成分および分量(1g中)】

ジフェンヒドラミン塩酸塩	2.0g	かゆみ成分(ヒスタミン)をブロック
デキサメタゾン酢酸エステル	25mg	抗炎症成分
l-メントール	3.5g	清涼感を与え、かゆみをしずめる
dl-カンフル	1.0g	清涼感を与え、かゆみをしずめる
クロタミトン	5.0g	かゆみをしずめる
グリチルレチン酸	0.2g	かぶれなどの炎症をしずめる
イソプロピルメチルフェノール	0.1g	殺菌作用

液体ムヒS2a

第2類医薬品



【してはいけないこと】

次の部位には使用しないでください。

- ・水痘(みずぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部
- ・顔面には広範囲で使用しないでください
- ・長期連用しないでください

【効能効果】

虫さされ、かゆみ、しっしん、皮膚炎、かぶれ、じんましん、あせも、しもやけ

【用法用量】

1日数回適量を患部に塗布してください。

【成分および分量(1g中)】

デキサメタゾン酢酸エステル	25mg	抗炎症成分
ジフェンヒドラミン塩酸塩	2.0g	かゆみ成分(ヒスタミン)をブロック
l-メントール	3.5g	清涼感を与え、かゆみをしずめる
dl-カンフル	1.0g	清涼感を与え、かゆみをしずめる
グリチルレチン酸	0.2g	かぶれなどの炎症をしずめる
イソプロピルメチルフェノール	0.1g	殺菌作用

中分類	商品名	ステロイド (抗炎症・鎮痒)	抗ヒスタミン 成分	抗炎症成分	局所麻酔成分 /鎮痒成分	殺菌消毒成分	冷感成分	その他の成分	備考
皮膚科用薬(外用薬) 抗ヒスタミン成分(+)	●液体ムヒアルファ EX (池田模範堂)【指定2】 液 (1mL中) 6ヵ月以上	プレドニゾン吉草 酸エステル酢酸エス テル 1.5mg	ジフェンヒドラミ ン塩酸塩 10mg			イソプロピルメチ ルフェノール 1mg	トメントール 35mg 4-カンフル 10mg		水痘、みずむし・たむし、化膿している患部、 創傷面、目・目の周囲・粘膜等、広範囲の顔面、 長期適用 妊婦、患部が広範囲、湿潤やひどいだけ
	●ムヒアルファ EX (池田模範堂)【指定2】 クリーム (1g中) 6ヵ月以上		ジフェンヒドラミ ン塩酸塩 20mg		クロタミトン (鎮 痒) 50mg				水痘、みずむし・たむし、化膿している患部、 広範囲の顔面、長期適用 妊婦、患部が広範囲、湿潤やひどいだけ
	●ウナコーワエース G ゲル (1g中) ●ウナコーワエース L 液 (1mL中) (興和)【指定2】				リドカイン (局 麻) 10mg				水痘、みずむし・たむし、化膿している患部、 創傷面、目・目の周囲・粘膜等、広範囲の顔面、 長期適用 妊婦、患部が広範囲、湿潤やひどいだけ

液体ムヒアルファEX

第2類医薬品



【してはいけないこと】

次の部位には使用しないでください。

- ・水痘(みずぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部
- ・創傷面、目の周囲、粘膜等

【効能効果】

虫さされ、かゆみ、しっしん、皮ふ炎、かぶれ、じんましん、あせも

【用法用量】

1日数回、患部に適量を塗布してください。

【成分および分量(100mL中)】

プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル	0.15g	抗炎症成分
ジフェンヒドラミン 塩酸塩	1.0g	かゆみ成分(ヒスタミン)をブロック
l-メントール	3.5g	清涼感を与え、かゆみをしずめる
dl-カンフル	1.0g	清涼感を与え、かゆみをしずめる
イソプロピルメチルフェノール	0.1g	殺菌作用

ムヒアルファEX

第2類医薬品

【してはいけないこと】

次の部位には使用しないでください。

- ・水痘(みずぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部
- ・かぶれ、傷口

【効能効果】

虫さされ、かゆみ、しっしん、皮ふ炎、かぶれ、じんましん、あせも

【用法用量】

1日数回、患部に適量を塗布してください。

【成分および分量(100mL中)】

プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル 0.15g 抗炎症成分

ジフェンヒドラミン 塩酸塩

1.0g かゆみ成分(ヒスタミン)をブロック

l-メントール

3.5g 清涼感を与え、かゆみをしずめる

dl-カンフル

1.0g 清涼感を与え、かゆみをしずめる

クロタミトン

5.0g かゆみをしずめる

イソプロピルメチルフェノール

0.1g 殺菌作用あり



ウナコーワエースG

第2類医薬品



【してはいけないこと】

次の部位には使用しないでください。

- ・水痘(みずぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部
- ・創傷面、目の周囲、粘膜等

【効能効果】

虫さされ、かゆみ、湿疹、かぶれ、皮膚炎、あせも、じんましん

【用法用量】

1日数回適量を患部に塗布してください。

【成分および分量(1g中)】

プレドニゾン吉草酸エステル酢酸エステル	1.5mg	抗炎症成分
リドカイン	10.0mg	かゆみの伝わり方をとめる
ジフェンヒドラミン塩酸塩	20.0mg	かゆみ成分(ヒスタミン)をブロック
l-メントール	35mg	清涼感を与え、かゆみをしずめる
dl-カンフル	10.0mg	清涼感を与え、かゆみをしずめる

生活上の注意

- ・蚊、ノミ、ダニなどの原因となっている虫を駆除する
- ・外出時は、肌を露出せず、防虫スプレーなどを使用する
- ・小児、幼児は睡眠時の掻き壊しを予防するためにミトンや手袋を着用する
- ・細菌等による二次感染を防ぐために皮膚を清潔に保つ
- ・ガーデニングや草取りなどの際には、虫や有毒の毛が付着しにくいゴム製手袋を使用し、作業する
- ・過去にアナフィラキシーを起こしたことがある場合、または仕事などで蜂にさされる危険性が高い場合には、アナフィラキシー補助治療薬エピペンを携帯
エピペン入手には医療機関を受診し、処方登録受諾医師による処方が必要
スズメバチの活動期で特に攻撃性が高まる6～10月は注意

アナフィラキシー

アナフィラキシーは命にかかわることも

アナフィラキシーは、発症後、極めて短い時間のうちに全身にあらわれるアレルギー症状です。

きっかけは？

主にアレルギーの原因物質に触れる、食べる（飲む）、吸い込むことで引き起こされます。

どこにあらわれるの？

複数の臓器（皮膚、粘膜、呼吸器、消化器、循環器など）や全身にあらわれます。

アナフィラキシーショックとは？

このアナフィラキシーによって、血圧の低下や意識障害などを引き起こし、場合によっては生命を脅かす危険な状態になることもあります。この生命に危険な状態をアナフィラキシーショックといいます。



日本におけるアナフィラキシーによる死亡者数

西暦(年)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
年間死亡者数(人)	55	77	52	55	69	50	51	62
蜂毒関係	22	24	14	23	19	13	12	11
食物	2	2	0	0	2	4	0	1
薬物	22	37	25	23	29	24	10	10
血清	0	1	1	1	0	0	1	0
詳細不明	9	13	12	8	19	9	28	40

厚生労働省：2012～2019年 人口動態統計「死亡数、性・死因（死因基本分類）別」より作図

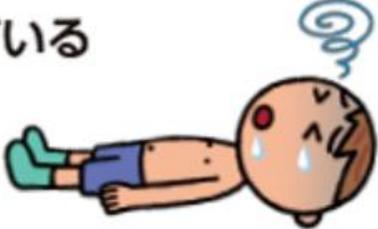
エピペン

エピペンは、アナフィラキシーがあらわれたときに使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤(アドレナリン自己注射薬)です。

あくまでも補助治療剤なので、アナフィラキシーを根本的に治療するものではありません。エピペン注射後は直ちに医師による診療を受ける必要があります。



● エピペンを使用するべき症状

<p>消化器の 症状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 繰り返し吐き続ける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続する強い（がまんできない）おなかの痛み 
<p>呼吸器の 症状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● のどや胸が締め付けられる ● 声がかすれる ● 犬が吠えるような咳 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続する強い咳込み ● ゼーゼーする呼吸 ● 息がしにくい 
<p>全身の 症状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 唇や爪が青白い ● 脈を触れにくい・不規則 ● 尿や便を漏らす ● 意識がもうろうとしている ● ぐったりしている 	

食物によるアナフィラキシー発現から心停止までの時間はわずか**30分**と報告されています。

● 食物によるアナフィラキシー発現から心停止までの時間

(中央値) [海外データ]

【調査概要】

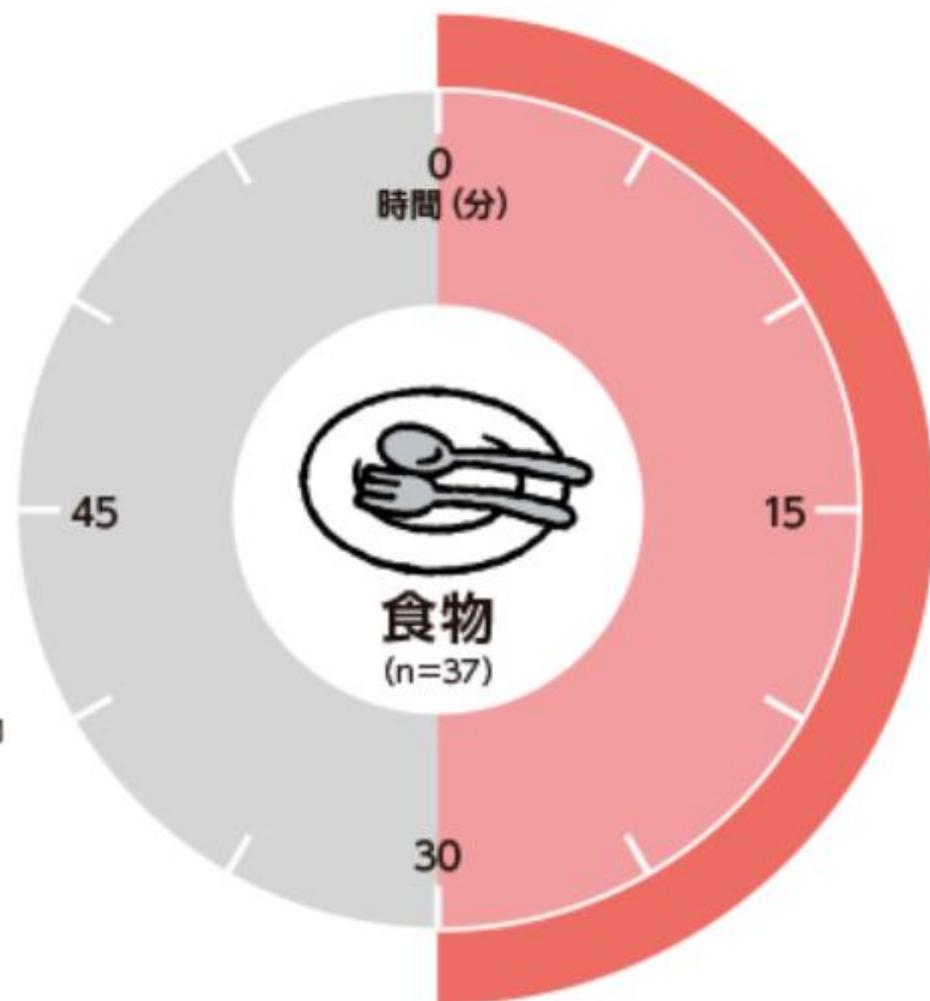
調査対象：

英国立統計局 (The Office for National Statistics:ONS) に1992~1998年までに登録された死亡を含むアナフィラキシー患者124例

調査方法：

死亡を含む致死性アナフィラキシー発現症例の、既往歴、ショック反応、検死などの調査結果から、アナフィラキシー発現から心停止までの時間、アドレナリン使用のタイミング、予後などを調査した。

Pumphrey, R. S. H.: Clin Exp Allergy 30 (8): 1144, 2000より作図
[L20050901009]



虫よけ薬

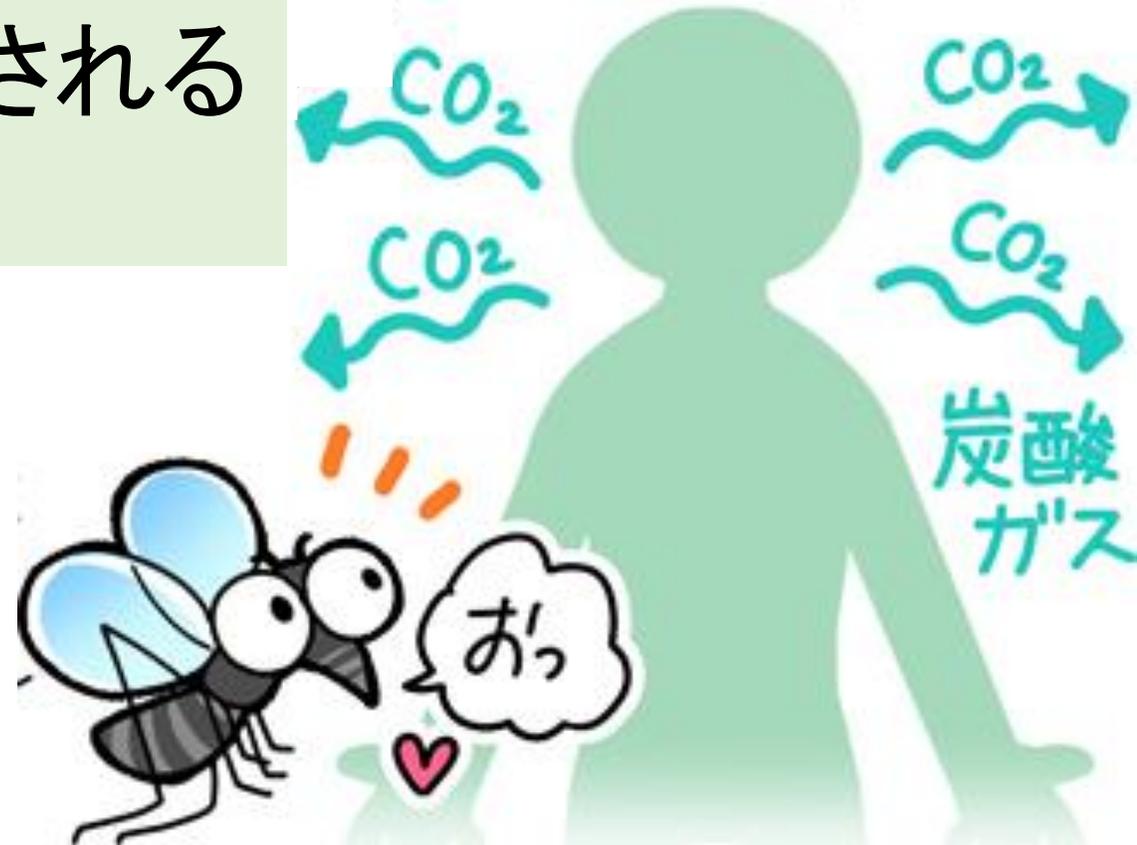
P587~588

- 蚊、マダニ、ツツガムシなどの吸血害虫は、マラリア、デング熱、重症熱性血小板減少症候群、ツツガムシ病、ダニ媒介性脳炎、ライム病、日本紅斑熱などの重篤な疾患を媒介するため、吸血されないよう忌避することが重要である。
- ディート、イカリジンが主な成分である。作用は弱いが高安全性が高い天然由来成分のものも販売されている。炭酸ガスを感知させにくくする作用により忌避作用を呈する。
- ディートは一般的には毒性が低いとされているが、乳幼児や小児への使用については濃度により違いがあるため注意が必要である。一方、イカリジンは使用に年齢制限がない。
- アリやハチ、ムカデ、毛虫といった、いわゆる吸血をしない虫は炭酸ガスに引き寄せられないため効果がない。

吸血害虫が吸血するメカニズム

人の呼気や皮膚呼吸より放出される炭酸ガス(CO₂)を感知

- ・蚊
- ・ブヨ
- ・サシバエ
- ・アブ
- ・ナンキンムシ
- ・ノミ
- ・イエダニ



蚊に刺されやすい人の要素

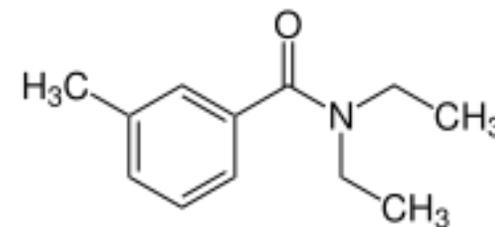
- ・アルコール
- ・汗をかく
- ・黒い色の服
- ・血液型(?) $O > B > AB > A$

O型とA型には有意差あり

ディート

- ・アメリカで第二次世界大戦中ジャングル戦用に開発
- 1946 軍用で使用開始
- 1957 民生用で使用開始
- ・ほとんどの虫除けスプレーで主成分として使われる
- ・昆虫がディートの臭いを嫌うが理由はわかってない

化学名: ジエチルトルアミド



- ・日本では長らく12%以下の製品しか存在しなかった
- ・2016年高濃度製品(30%)が**第2類医薬品**として発売となった

虫除け薬の作用メカニズム

通常



炭酸ガス (CO₂)



皮膚

通常、呼気や皮膚呼吸により人の周辺は周囲より炭酸ガス (CO₂) の濃度がわずかに高いため蚊などが寄ってくる。

ディート使用時

ディート



皮膚

皮膚から少しずつ蒸散しているディートが蚊などの触角に作用し、炭酸ガス (CO₂) を感知しにくくさせる。

イカリジン

- ・ **ディートに替わる忌避剤**として西ドイツ、バイエル社が開発
1998発売
- ・ **ディートと同様の効果**があり、ディートのような**皮膚刺激性がない**
- ・ **ディートにない有用性**として
 1. **小児への使用制限・回数制限が無い。**
 2. **ディート特有の嫌な臭いがない。**
 3. **繊維や樹脂を傷めにくく、服の上から使用してもほとんど影響を生じない**

- ・ 日本では2015年2月 5%製品が発売
- ・ 2016年8月高濃度製品(15%)が**医薬部外品**として発売

虫よけ薬は OTC 薬の領域であり、医療用医薬品にはない。

▶成分の選びかた

- デング熱、ジカ熱、マラリアなどの流行地域では、高濃度のディート 30%製剤またはイカリジン 15%製剤のものを用いる。
- 一般的な野外での活動の際はディート 12%製剤またはイカリジン 5%製剤でも使用可能であるが、いずれにせよ万能ではないことに注意する。
- 小児については、生後 6ヵ月未満はディート含有製剤は使用できない。生後 6ヵ月から 2歳未満までは 12%以下の含有量の製剤であれば 1日 1回までの使用が許容される。2歳から 12歳未満までは 1日 3回までの使用とする。いずれも 30%製剤は使用不可である。



こんな症状や訴えの方には医療機関の受診を勧める！

- マラリア流行地域への渡航、またその帰国者、野外での作業・レジャーでマダニに吸血された恐れがある場合

生活上の注意点とアドバイス

- いずれの製剤も傷のあるところ、目や口の周囲、粘膜には用いない。長時間野外にて活動する場合は6時間おきに塗布する。
- 汗や衣類の着脱などにより落ちやすいため、場合によっては再度塗布を行う。
- ディートはポリエステルやウレタンなどの衣類を傷めたり変質させたりするため、衣類の上から塗布しない。

■ 虫よけ薬の成分と使いかた

成分	濃度	作用持続時間	年齢別使用法			適用害虫
			生後 6ヵ月未満	生後 6ヵ月以上 2歳未満	2歳以上 12歳未満	
ディート 【2類】	30%	約 5～8 時間	使用しないこと			10% 以下製剤適用害虫に加えてツツガムシ
	12%	約 4～6 時間	使用しないこと	1日1回	1日 1～3回	
	10% 以下	約 3～4 時間				蚊、ブユ（ブヨ）、 アブ、マダニ、イ エダニ、ノミ、ト コジラミ（ナンキン ムシ）、ヤマビル、 サシバエ
イカリジン 【防除用医薬 部外品】	15%	約 6～8 時間	制限なし			蚊、ブユ（ブヨ）、 アブ、マダニ、イ エダニ、トコジラ ミ（ナンキンム シ）、ヤマビル
	10%	約 6 時間				
	5%	約 6 時間				